

# 自己評価・学校関係者評価表（令和1年度）

岸和田いずみ幼稚園

## 1、本園の教育目標

心身共に健康な子どもを育てる

- ・ 自分の思いや考えが表現できる子ども
- ・ 友達と仲良く遊べる子ども
- ・ 根気よく頑張る子ども
- ・ 相手を思いやるやさしい子

## 2、本年度、重点的に取り組む目標・計画

- ・ 指導計画が教育要領や教育理念、子どもの実態に即しているかを把握し、教職員の共通理解をはかり、教育の質を高める。
- ・ 社会のニーズを意識し、確認していくことで、幼稚園が今後求められている役割を明確にしておく。

## 3、評価項目の達成及び取組状況

教育項目	取組状況
新教育要領の理解を深める	・新教育要領における『幼児期の終わりまでに育ってほしい姿』を考慮して、年間の指導目標や月の目標を掲げてきた。 ・作品製作で相互の良さを認め合い、集団遊びを通し仲間との体験を共有し、相手を認めあい良好な人間関係を築いてきた。
教職員の情報の伝達の取り組みについて	・教職員が得た情報を、紙面やホワイトボード等を利用し相互に共有するように努めてきた。全体に周知できるように、紙面だけではなく、声をかけることも心掛けてきた。 ・けがや事故が発生した時は、状況を把握する為の専用のシートを作成し情報共有を行ってきた。 ・公務分掌を行い、業務内容に速やかに対応することに努めてきた。
環境の美化に努めてきた	・保育室内におけるおもちゃの整理を行い、コーナー遊びが取り組める環境作りを意識するようになった。 ・園児とともに小さい帚やちりとりを使い、下駄箱付近や廊下、敷居等の美化を行ってきた。お手伝いに対する意欲や、自ら進んで行動する姿へとつながっている。

#### 4、学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

各学年において、年度の始めに教育目標の具体的方策を話し合い、月案に取り入れることができた。具体的な目標、方法を明確にすることで、子どもの発達段階に応じた見通しを持つ保育が行うことができた。保育に対する反省や考察を行う中で、学年でそれを行うだけでなく、学年を超え、全体の課題として意識する必要性に気づいた。

環境の美化や、物を大切に作る気持ちは、日々の保育の中で培われていく。反省点では大人がもっと率先して取り組んだり、子どもの行動を認めたりほめる言葉かけがさらに必要である。

#### 5、今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取り組み方法
園庭における遊具の整備に努める	<ul style="list-style-type: none"><li>・固定遊具の目視等の点検を定期的に行っている。気になる箇所があれば速やかに業者への点検につなげていき、安全をさらに高めていく。</li><li>・移動遊具(三輪車等)の導入や増設を行い、園児が体幹を養い、集中して取り組める遊びを増やしていく。</li></ul>
良好な人間関係が築けるように保育内容を吟味し、工夫していく。	<ul style="list-style-type: none"><li>・相手を思いやりほめたりする行動を増やす。</li><li>・自分の気持ちが表現できるように、教師が間に入り、人間関係を取り持つ。</li><li>・子どもの興味を生かし、美化の観点より、箒やちりとりや雑巾等の用具の使い方を知り、協力する姿や意欲を高める子どもへと育てる。</li></ul> これらのように自ら考え、行動できる力を育む為に、保育環境を整え、具体的な保育内容を工夫していく。
学校安全計画と危機管理等のマニュアルの整備	<ul style="list-style-type: none"><li>・東日本や大阪府北摂地震、各地における豪雨災害、近畿地方への台風上陸等、近年自然災害がもたらす被害への準備や対策が強化される時代となってきた。</li></ul> 学校教育現場においては、自然災害をはじめ、防犯や交通安全、生活安全、感染症対策、火災等の危機管理意識を高め、準備をする為にマニュアルの整備に取り組む。 <ul style="list-style-type: none"><li>・園周辺、玄関付近に防犯カメラを設置する。</li></ul>

#### 6、学校関係者の評価

特に指導すべきことはなく、妥当であると認められる

#### 7、財務状況

公認会計士監査により、適正に運営されていると認められている。